

事業提案

事業者：有限会社 前田包装容器（宮崎市神宮東2丁目3-10）
 資本金：300万 業種：軽包装資材卸売業 従業員数：19

事業名：Larkを活用した原価計算、データ連携システム事業

クラウド

AI

RPA



クラウドによるデータ一元管理、SNSによる広報強化

【概要】

- ①現在Excelにて行っている原価計算業務をクラウドシステム化して構築する。
- ②RPAによる業務の自動化、運用の内製化を行う。

【主な取組】

- ・製造分野の強化と今後事業領域の拡大のためLarkを導入し商品の原価計算を行う。ノーコードツールである簡便な特性を活かしたシステム構築を行う。
- ・Larkを行うことにより物品販売時の利益を把握する。
- ・RPA（Robotango）の活用による時間削減、人件費の削減。

【事業の目標】

（定性目標）

- ・今後の製造分野への領域拡大を見越して原価計算の知識の浸透を行い、社員とともに勉強をしていく。

（定量目標）

- ・情報セキュリティ対策 クラウドでの作業となってくるので外部との接続LANIについての勉強を行う。SECURITY ACTION宣言は2を取得済み
- ・労働生産性については事業3年目の時に全体で109%の伸びとなるようにしていく。
- ・利益率の把握と利益の改善をおこなう。

【取組を行う背景】

- ・包装資材の売り上げが頭打ち状態であることと、製品政策の際に外注に出すことによるお客様への納品時間の短縮が課題。
- ・人材事業の広報費用が外注費用が多いので広告費を削減したい。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

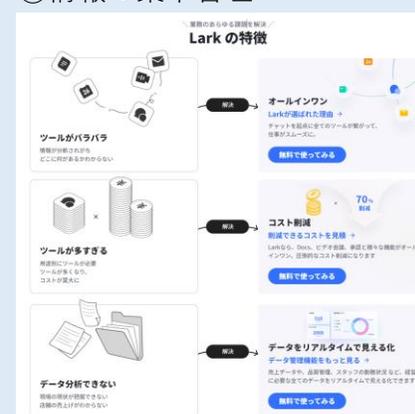
- オリジナル商品を開発し利益率の改善やスピードアップを図っていきたい。
- ・人材大手に負けない少額での広報手段を身に着け、横展開をしたい。

①LARK導入による原価計算

③RPAによるシステム間の自動連携



②情報の集中管理



【効果（成果）】

- ・効果①リアルタイムで原価計算ができるようになり、商品ごとの利益の把握や顧客ごとの利益が分かるようになった。
- ・効果②2時間程度かかっていた作業時間が20分程度に削減された。人に依存せずに自動で作業ができる環境ができた。

【今後の取組】

- ・Larkを活用し原価計算の制度をあげ、さらにリアルタイムで商品販売の損益を把握できる体制を整えていく。
- ・LarkとROBOTANGOの機能をもっと深掘りして、さらに業務に活用できる体制を作っていく。